

兵庫県水産技術センターだより

貝毒情報(アサリ) KD-29-臨時2号

平成30年3月1日発行

プランクトン検査を2月26日~27日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】・プランクトン検査の結果、洲本で採水した海水から注意が必要な密度の貝毒原因プランクトンが確認されましたので、3月5日の週にアサリの臨時調査(芦屋、洲本)を実施します。



【検査結果】

年月日(採水)	H30. 2.26	H30. 2.26
地点(St.)	芦屋	洲本
水温(°C)	7.6	8.5
塩分	26.5	31.6
貝類の毒化状況 [マウスユニット/g]	麻痺性貝毒	
麻痺性貝毒原因プランクトン	アレキサンドリウム タマレンセ <i>Alexandrium tamarense</i> (個数/ℓ)	540 11,580
	アレキサンドリウム カテネラ <i>Alexandrium catenella</i> (個数/ℓ)	0 0
下痢性貝毒原因プランクトン	ダイノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (個数/ℓ)	0 0
	ダイノフィシス アキュミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (個数/ℓ)	0 0



※原因プランクトンの分類については、科学的な再検討が進められていますが、本情報では農林水産省消費・安全局のガイドラインに沿った種名を使用しています。

【今後の情報予定】

3月5日の週にアサリの臨時調査(芦屋、洲本)を予定しています。調査結果がまとまり次第「貝毒情報KD-29-18号」としてお知らせします。

<規制の基準>

可食部の毒量が

麻痺性貝毒:4マウスユニット/g

下痢性貝毒:0.16mg オカダ酸当量/kg

}を超えた場合

<注意が必要なプランクトン密度>

・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

アレキサンドリウム タマレンセ

Alexandrium tamarense 5,000 個数/ℓ以上

アレキサンドリウム カテネラ

Alexandrium catenella 50,000 個数/ℓ以上

・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

ダイノフィシス フォルティ

Dinophysis fortii 50,000 個数/ℓ以上

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター (担当: 水産環境部・内田、宮原)

Tel : 078-941-8602

Fax : 078-941-8604

Homepage : <http://www.hyogo-suigi.jp/>